

令和2年9月11日

加盟団体基本調査について

東北吹奏楽連盟理事長 鈴木芳夫

東日本大震災から9年6ヶ月が過ぎました。震災の発生以来、「響け！復興のハーモニー」のスローガンのもと、本連盟に多くの皆様から心のこもった義援金をはじめ、物心両面にわたってご支援賜りましたことに心より感謝申し上げる次第です。

さて、このたび本連盟の「加盟団体基本調査」の集計結果を公表することとなりました。

この調査は、本連盟に加盟している全ての団体を調査の対象とし、今日的で喫緊の課題である少子化への連盟としての対応のあり方や、中長期的に見た連盟としての方向性を探るため等、正確な数字を把握をして、連盟の施策の根拠にすべく実施いたしました。「吹奏楽コンクール」「アンサンブルコンテスト」は県大会前の地区大会・支部大会からの参加数をまとめました。また、団員数について、学校においては学年ごとの人数、職場一般においては年代ごとの人数も調査しました。

従来より各団体の加盟登録にあたりまして、各加盟団体の連絡先や人数等は各県吹奏楽連盟において把握してきたところです。また、中学校と高等学校におきましては、毎年11月末に次年度の小編成部門への参加についての可否を決定するために、「部員数調査」を行ってきました。これは平成21年度より10年以上にわたりまして積み重ねてきております。

今回公表するのは、今年6月末での全加盟団体の集計結果を各県ごとにまとめたものです。残念ながら、コロナウイルス感染拡大防止のため、大学や職場一般においては活動が今もって再開・開始できていない現状もあり、不完全な部分があります。

本連盟では今後も継続して調査を重ね、経年による変化も比較できるようにしていきたいと考えております。なお、調査の実施にあたりまして、各加盟団体から誠意ある回答をいただきましたこと、並びに、集計作業を担った各県吹奏楽連盟事務局、各地区及び各支部吹奏楽連盟事務局の皆様に感謝申し上げます。

皆様には趣旨をご理解いただきまして、ご高覧賜れば幸いに存じます。